

【道路-3】再評価

一般国道1号（保土ヶ谷橋工区）

（道路局）

CITY OF YOKOHAMA

横浜市公共事業評価【再評価】

【道路 - 3】

一般国道1号（保土ヶ谷橋工区）

道路局建設部 建設課

令和7年1月20日

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER

これまでの経緯

1 評価状況

今回評価

評価段階	事前評価	再評価（1回目）	再評価（2回目）	再評価（3回目）
付議状況	平成21年度	平成27年度	令和元年度	令和6年度
意見具申	なし	なし	なし	なし
事業費	40億円	40億円	40億円	40億円
事業期間	平成21年～平成27年度	平成21年～平成34年度	平成21年～令和9年度	平成21年～令和14年度

これまでの経緯

2 前回までの主な意見と対応状況

主な意見（要約）	対 応	本資料での 該当ページ	備考
・事業費の確保が困難であることから、国庫補助の重点配分メニューの対象となるよう交渉していくこと。	・令和2年度より国庫補助事業（空港・港湾等アクセス道路）に指定	p.10	完了
・事業費が確保された場合、事業区間全体を令和9年度までに完了する見込みはあるか。	・令和3年度より国費が確保できるようになり、事業を推進してきました。 ・事業を進める中で、用地取得に時間を要したこと、河川管理者との協議により施工条件が明確になったことに伴い、現在は、令和14年度の完了見込みとなっています。	p.6 p.7 p.16 p.20	完了

事業概要

一般国道1号（保土ヶ谷橋工区）

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA



事業費及び事業期間

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

		当 初(事業採択時)	変 更(令和元年度)	変 更(令和6年度)
事業期間		平成 21 年度～平成 27 年度	平成 21 年度～令和 9 年度	平成 21 年度～令和 14 年度
事業費	合 計	4,000 百万円	4,000 百万円	4,000 百万円
	国 費	2,000 百万円	2,000 百万円	2,000 百万円
	市 費	2,000 百万円	2,000 百万円	2,000 百万円
	内 訳	用地補償費 1,200 百万円 測量設計費 500 百万円 工事費 2,300 百万円(うち、橋梁部 1,800 百万円)		
変更内容	<p>(1) 事業期間の変更 事業用地の確保に時間を要していること、河川管理者との協議の結果、工事期間の見直しをしたことにより、事業期間を延伸する予定です。</p> <p>(2) 用地面積の変更:なし</p> <p>(3) 事業費の変更:なし</p>			

事業費及び事業期間

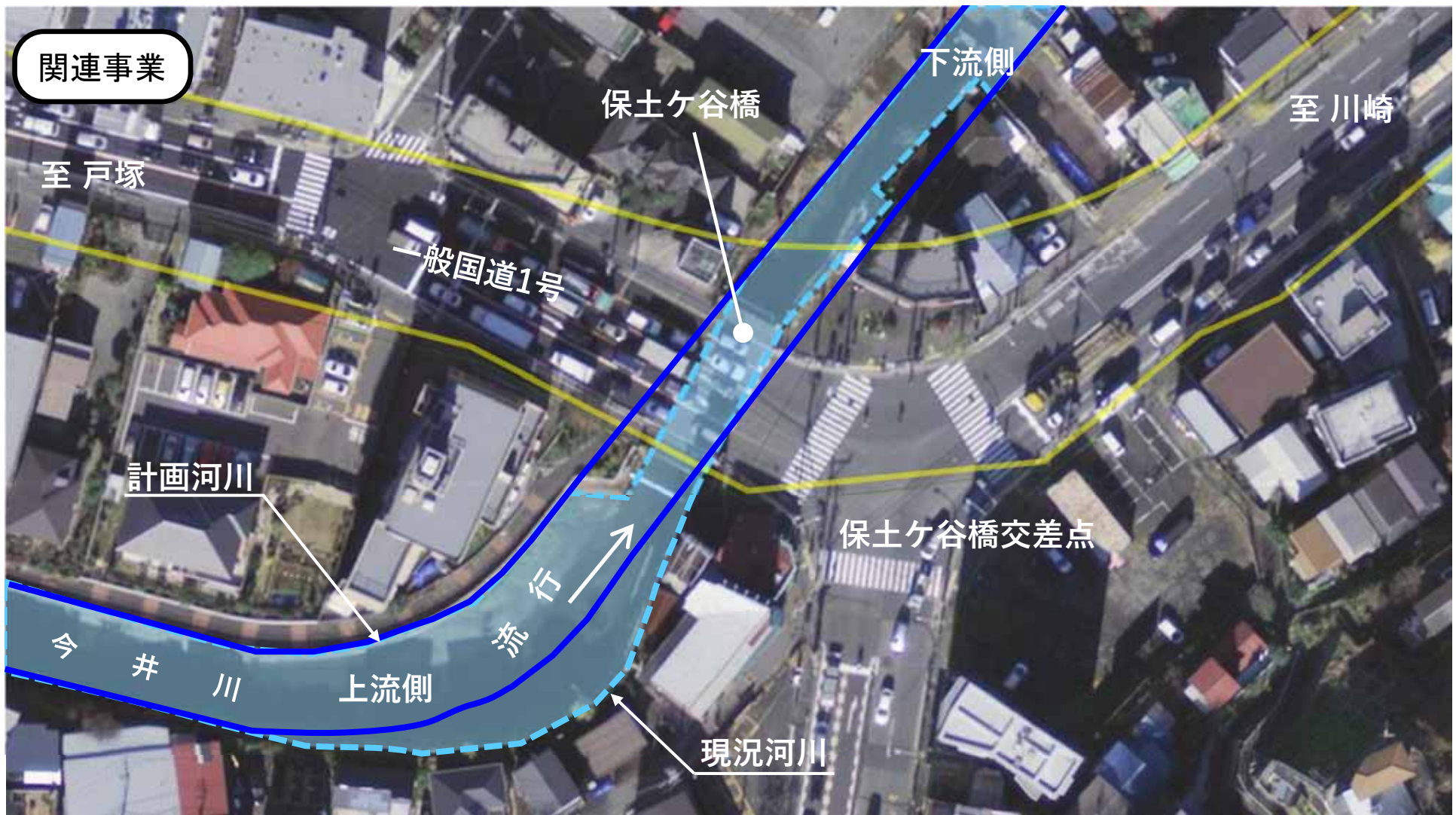
明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

		当 初(事業採択時)	変 更(令和元年度)	変 更(令和6年度)
事業期間		平成 21 年度～平成 27 年度	平成 21 年度～令和 9 年度	平成 21 年度～令和 14 年度
事業費	合 計	4,000 百万円	4,000 百万円	4,000 百万円
	国 費	2,000 百万円	2,000 百万円	2,000 百万円
	市 費	2,000 百万円	2,000 百万円	2,000 百万円
	内 訳	用地補償費 1,200 百万円 測量設計費 500 百万円 工事費 2,300 百万円(うち、橋梁部 1,800 百万円)		
変更内容	<p>(1) 事業期間の変更 事業用地の確保に時間を要していること、河川管理者との協議の結果、工事期間の見直しをしたことにより、事業期間を延伸する予定です。</p> <p>(2) 用地面積の変更: なし</p> <p>(3) 事業費の変更: なし</p>			

上位計画等

横浜市中期計画の施策の一つである「交通ネットワークの充実」において、都市計画道路の整備率は指定都市の中で最低の水準にあり、慢性的な道路渋滞をもたらす要因になるなど質・量ともに不十分な状況とされています。市民生活の利便性向上には、引き続き、都市計画道路の整備を行い、市内道路ネットワークの形成を進める必要があります。

本事業により道路拡幅及び交差点改良を行うことで、交通流の円滑化を図ります。



事業の必要性

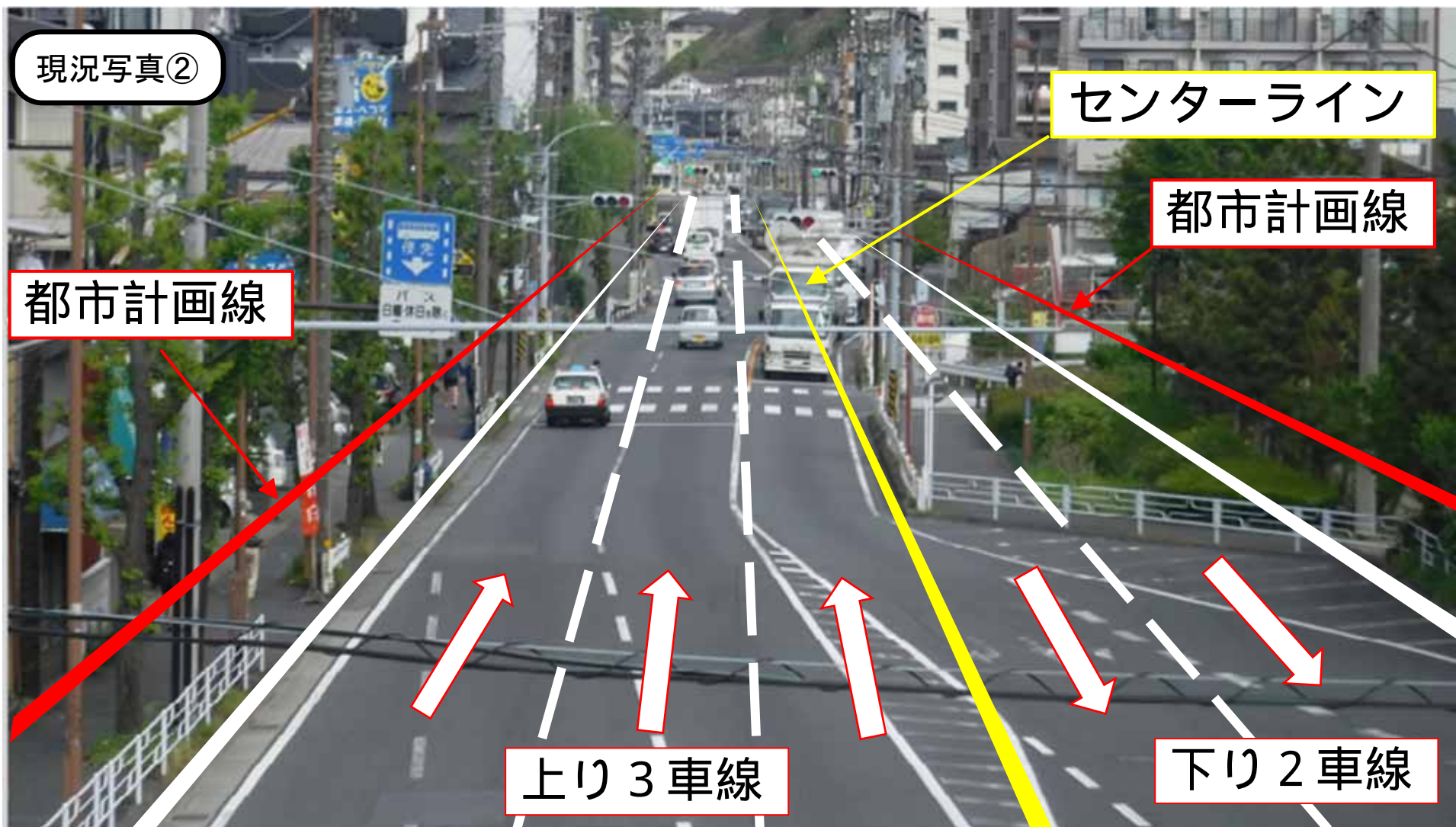
明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

事業を巡る
社会経済情
勢等の変化

令和2年度より国庫補助事業(空港・港湾等アクセス道路)に指定されており、横浜港と本市内陸南部工業地域を結ぶ重要道路に位置付けられています。先行して整備が完了している一般国道1号(狩場工区)と接続することで、保土ヶ谷橋交差点から狩場 IC までの交通の利便性向上や交通機能の強化を図る事が出来るほか、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能も発揮されます。また、事業工区に架かる保土ヶ谷橋については、交差する今井川で進められている河川改修工事(橋梁区間:令和12年度完了予定)に合わせて架替え・拡幅することで、近隣住民や交通への負荷を軽減する事ができます。







事業の投資効果

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

		事業全体	残事業
事業の投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)	割引率	4%	-
	総便益(B)	196.0億円	-
	総費用(C)	36.0億円	-
	費用便益比 (B/C)	5.4	-
	感度分析 [交通量-10%]	5.3	-
	[定性的効果]	<p>保土ヶ谷橋交差点付近から一般国道16号(保土ヶ谷バイパス)狩場ICまでの区間を整備することにより、交通流の円滑化と沿道環境の改善が図れるとともに、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。</p>	

事業の投資効果

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

		事業全体	残事業
事業の投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)	割引率	4%	-
	総便益(B)	196.0億円	-
	総費用(C)	36.0億円	-
	費用便益比 (B/C)	5.4	-
	感度分析 [交通量-10%]	5.3	-
	[定性的効果]	<p>保土ヶ谷橋交差点付近から一般国道16号(保土ヶ谷バイパス)狩場ICまでの区間を整備することにより、交通流の円滑化と沿道環境の改善が図れるとともに、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。</p>	

事業の進捗状況

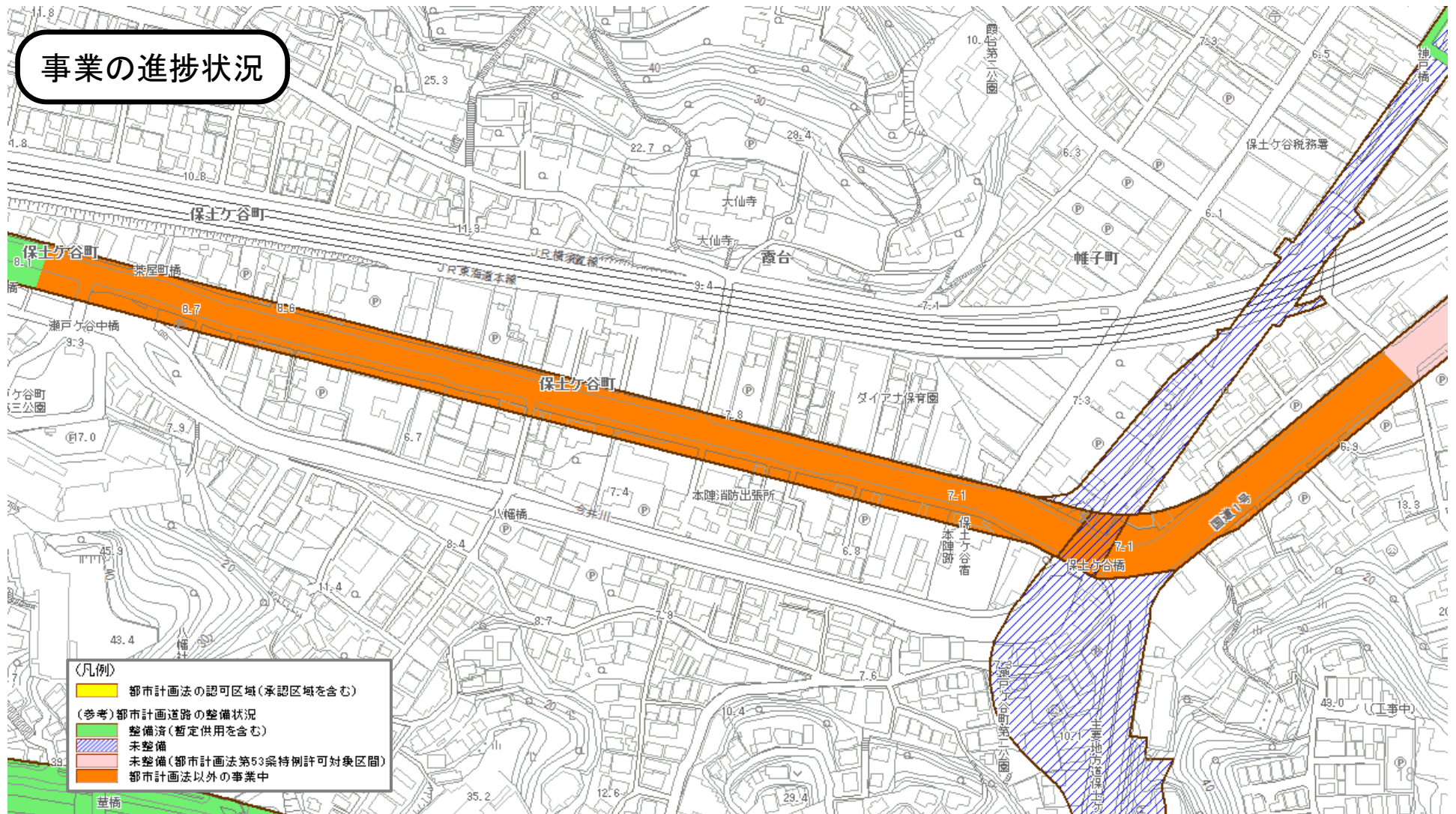
明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

事業の 進捗状況	事業進捗率%	<p>事業規模が大きい中で、橋梁架け替えを伴う交差点改良を先行して進めています。橋梁架け替えに必要な用地は全体の 10% であり、一部の用地について交渉を継続しています。なお、残りの用地は、橋梁工事着手後並行して進める計画としています。</p> <p>河川管理者や交通管理者との協議とあわせて、架け替えに必要な地下埋設物事業者による支障物の移設工事も進めています。</p>
	22%	
	用地取得率%	
	8%	
	供用等の状況	
-		

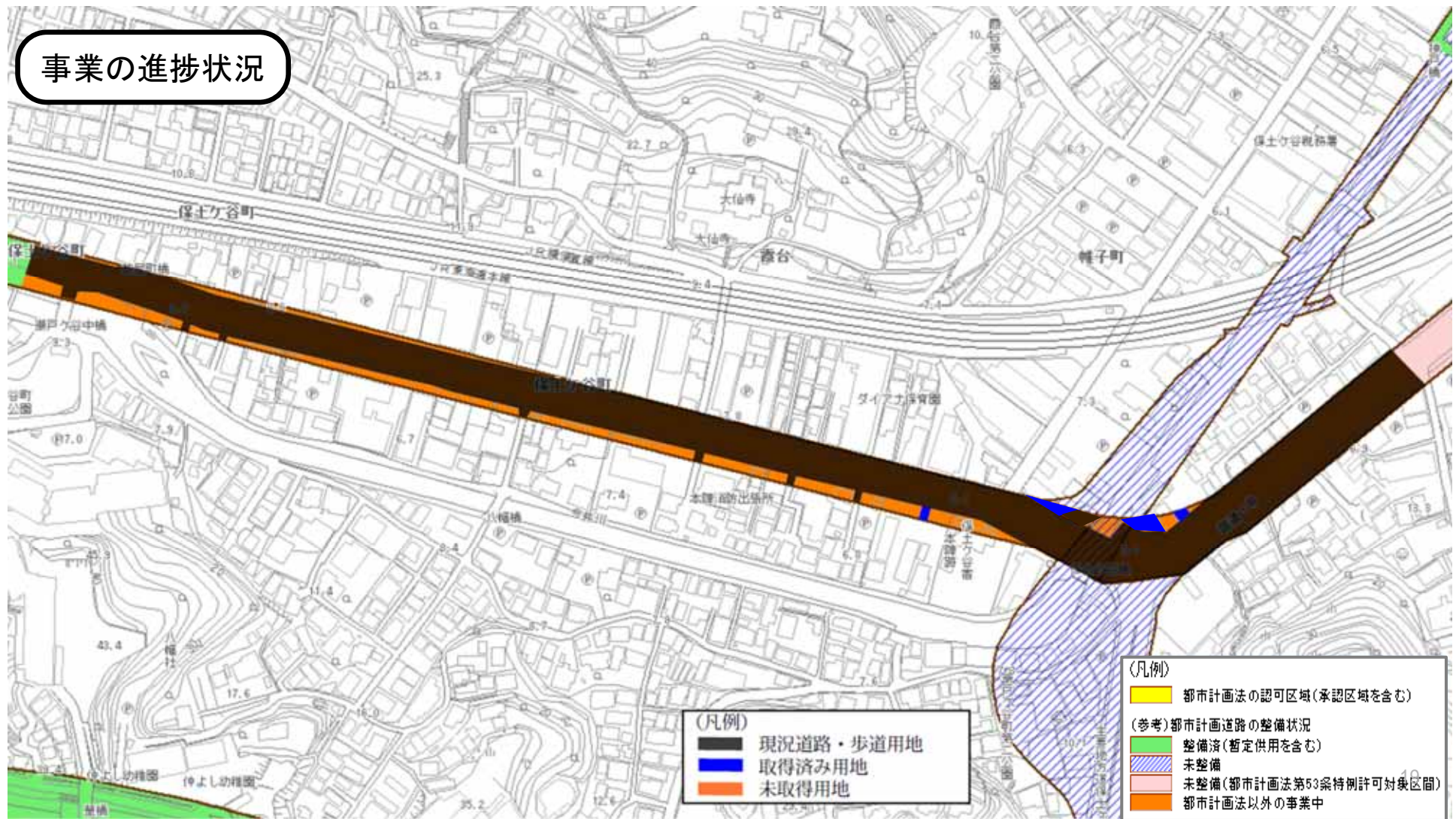
事業の進捗状況



事業の進捗状況



事業の進捗状況



(凡例)
 黒 現況道路・歩道用地
 青 取得済み用地
 橙 未取得用地

(凡例)
 黄 都市計画法の認可区域(承認区域を含む)
 (参考)都市計画道路の整備状況
 緑 整備済(暫定供用を含む)
 青斜線 未整備
 粉斜線 未整備(都市計画法第53条特例許可対象区間)
 橙斜線 都市計画法以外の事業中

事業の課題及び進捗状況

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

<p>事業の課題 及び 進捗見込み</p>	<p>本地区は、常時交通量の多い区間のため、保土ヶ谷橋の架け替え工事においても通行止めをせずに施工を行う必要があり、入念な施工計画の検討等が必要です。安全に工事を進めることができるよう交通管理者との協議を進めます。</p> <p>今後の河川改修に合わせて、保土ヶ谷橋の架け替え工事を実施していく予定のため、橋梁架替工事に必要な用地を優先的に確保していく必要があります。4件／6件の用地が取得済みであり、残りの用地についても早期取得を目指して交渉を進めます。</p>
-------------------------------	--

コスト縮減

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

その他 (コスト縮減項目等)

舗装、構造物の築造等については、設計の段階から可能な限り工事費の縮減に努めるとともに、長寿命化の検討を行い、維持管理費の縮減に努めます。舗装、構造物の基礎等について再生材を使用する等、可能な限りコスト縮減に努めます。

対応方針案

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

対応方針
(案) とし
た理由

隣接する狩場 IC 区間の整備が完了しており、当該事業区間を整備することにより、保土ヶ谷橋交差点付近まで連続して整備することができ、交通の円滑化や災害時の緊急輸送路としての機能強化などの整備効果を発揮できます。

また、交差する今井川の河川改修工事と同時に保土ヶ谷橋の架替え工事を行うことで、近隣や交通への影響を最小限にとどめ、効率的な施工を行なうことができます。用地取得に時間を要していますが、事業の効果は十分有しており、継続して実施する必要があると判断しています。

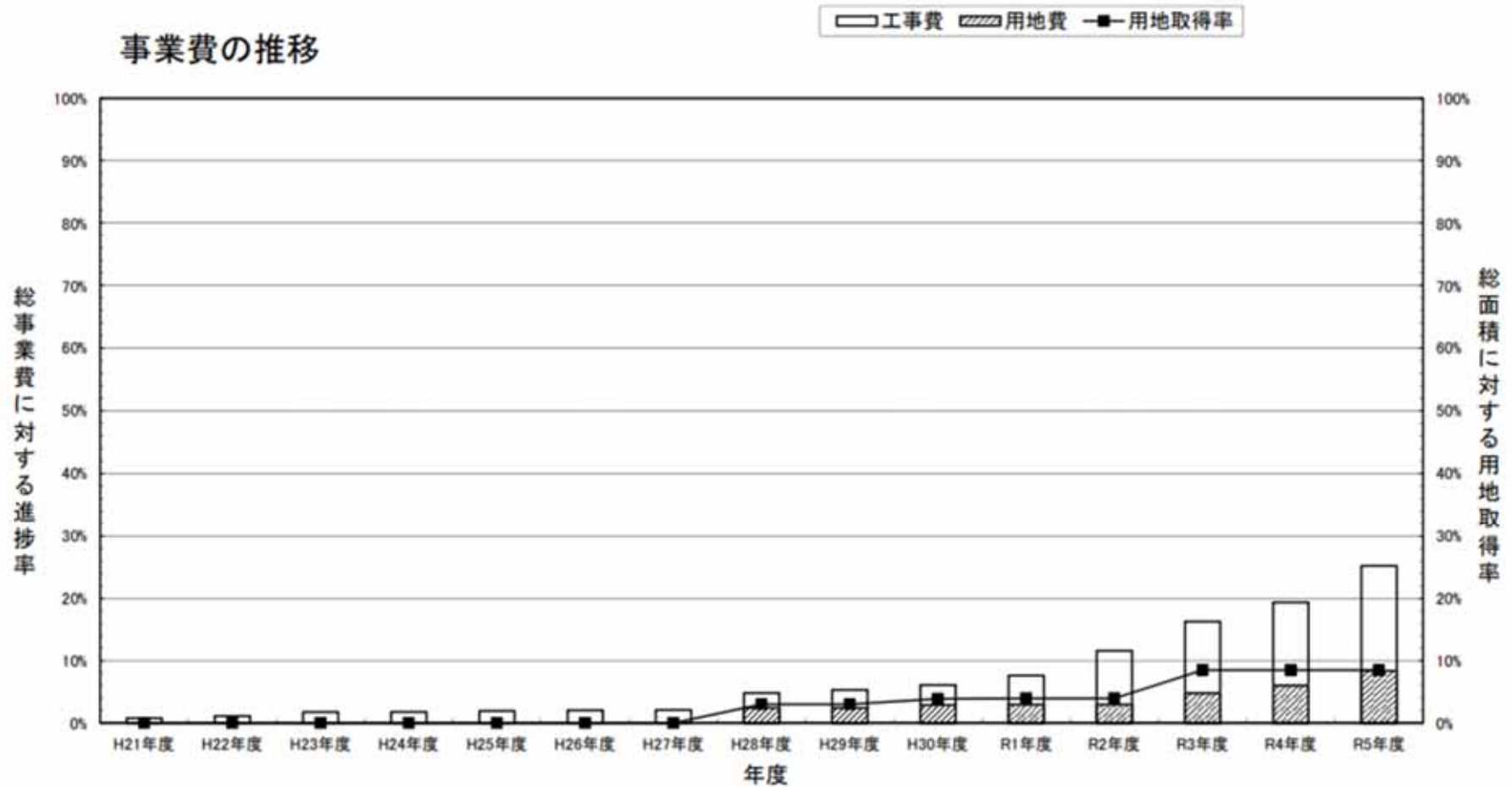
明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

一般国道(保土ヶ谷橋工区)事業進捗状況

(単位:百万円)

年 度	単年度事業費			累計事業費			事業進捗率			用地取得面積		
	合 計	用地・補償	工事・委託	合 計	用地・補償	工事・委託	合 計	用地・補償	工事・委託	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率
H21年度	31	0	31	31	0	31	0.8%	0.0%	0.8%	0	0	0.0%
H22年度	14	0	14	45	0	45	1.1%	0.0%	1.1%	0	0	0.0%
H23年度	26	0	26	70	0	70	1.8%	0.0%	1.8%	0	0	0.0%
H24年度	1	0	1	71	0	71	1.8%	0.0%	1.8%	0	0	0.0%
H25年度	6	0	6	77	0	77	1.9%	0.0%	1.9%	0	0	0.0%
H26年度	4	0	4	81	0	81	2.0%	0.0%	2.0%	0	0	0.0%
H27年度	3	0	3	84	0	84	2.1%	0.0%	2.1%	0	0	0.0%
H28年度	108	96	12	192	96	96	4.8%	2.4%	2.4%	123	123	3.0%
H29年度	20	0	20	212	96	116	5.3%	2.4%	2.9%	0	123	3.0%
H30年度	31	19	12	243	115	128	6.1%	2.9%	3.2%	36	159	3.9%
R1年度	22	3	19	304	118	186	7.6%	3.0%	4.7%	3	162	3.9%
R2年度	39	0	39	463	118	345	11.6%	3.0%	8.6%	0	162	3.9%
R3年度	232	73	159	650	191	459	16.3%	4.8%	11.5%	186	347	8.5%
R4年度	163	49	114	773	240	533	19.3%	6.0%	13.3%	0	347	8.5%
R5年度	168	94	74	1,007	334	673	25.2%	8.4%	16.8%	0	347	8.5%
全 体	—	—	—	4,000	1,215	2,785	100.0%	30.4%	69.6%	—		100.0%

事業費の推移



前回再評価内容との比較 一般国道1号(保土ヶ谷橋工区)

	前回(R1)	今回(R6)	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業工区に架かる保土ヶ谷橋については、交差する今井川の改修工事が進んでいることから、工事時期を合わせて架替え・拡幅することで、近隣や交通負荷の軽減が図られるとともに、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能も期待されています。	令和2年度より国庫補助事業(空港・港湾等アクセス道路)に指定されており、横浜港と本市内陸南部工業地域を結ぶ重要道路に位置付けられています。事業工区に架かる保土ヶ谷橋については、交差する今井川の改修工事が進んでいることから、工事時期を合わせて架替え・拡幅することで、近隣や交通負荷の軽減が図られるとともに、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能も期待されています。	戸塚区柏尾川周辺の生産研究拠点から横浜港へのアクセス向上が求められています。また、保土ヶ谷橋は、健全度は維持しているもの、供用後97年が経過しており、緊急輸送路に架かるため、早期に架け替えを行う事で、災害時の交通機能の確実性が求められています。
事業進捗率	6%	22%	+16%
用地取得率	4%	8%	+4%
供用等の状況	—	—	—
事業の進捗見込	本地区は、常時交通量の多い区間のため、保土ヶ谷橋の架け替え工事においても通行止めをせずに施工を行う必要があり、入念な施工計画の検討等が必要です。 令和4年度の河川改修に合わせて、保土ヶ谷橋の架け替え工事を5年かけて実施していく予定です。	本地区は、常時交通量の多い区間のため、保土ヶ谷橋の架け替え工事においても通行止めをせずに施工を行う必要があり、入念な施工計画の検討等が必要です。 保土ヶ谷橋の架け替え工事に必要な用地を優先的に取得し、保土ヶ谷橋架替工事を5年かけて実施していく予定です。	保土ヶ谷橋の架け替え工事を先行して実施していくため、用地交渉においても該当箇所を集中的に交渉しております。分筆や土地・建物調査にしている権利者もあり、今後も未買収の用地交渉を進めていきます。

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として前回使用した事業進捗率を()で示した。

道路－3

(様式4)

公共事業再評価調書（案）

番 号	【道路－3】	事業担当局課	道路局	建設課	
事業名	一般国道1号（保土ヶ谷橋工区）			採択年度	平成21年度
施工場所	保土ヶ谷区岩井町から保土ヶ谷町二丁目			経過年数	15年
目的及び事業概要	<p>目的</p> <p>一般国道1号は、東京都中央区を起点とし、大阪市に至る実延長約717kmの主要な幹線道路です。そのうち、西区浜松町から戸塚区汲沢町までの約14kmが横浜市管理区間となっています。</p> <p>保土ヶ谷区の保土ヶ谷橋交差点付近から一般国道16号（保土ヶ谷バイパス）狩場ICまでの区間は、横浜市内でも特に交通が集中し慢性的な渋滞が発生しているため、整備済みの狩場工区に引き続きこの区間を整備することにより、交通流の円滑化を図ります。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長800m、幅員25m（往復5車線）、用地面積4,100㎡</p> <p>うち、橋梁部（二級河川今井川渡河部）橋長約10m ※保土ヶ谷橋架替</p>				
			当初(事業採択時)	変更(令和元年度)	変更(令和6年度)
	事業期間		平成21年度～平成27年度	平成21年度～令和9年度	平成21年度～令和14年度
	事業費	合計	4,000百万円	4,000百万円	4,000百万円
		国費	2,000百万円	2,000百万円	2,000百万円
		市費	2,000百万円	2,000百万円	2,000百万円
		内訳	用地補償費1,200百万円 測量設計費500百万円 工事費2,300百万円（うち、橋梁部1,800百万円）		
	変更内容	<p>(1)事業期間の変更</p> <p>事業用地の確保に時間を要していること、河川管理者との協議の結果、工事期間の見直しをしたことにより、事業期間を延伸する予定です。</p> <p>(2)用地面積の変更:なし</p> <p>(3)事業費の変更:なし</p>			
	上位計画等	<p>横浜市中期計画の施策の一つである「交通ネットワークの充実」において、都市計画道路の整備率は指定都市の中で最低の水準にあり、慢性的な道路渋滞をもたらす要因になるなど質・量ともに不十分な状況とされています。市民生活の利便性向上には、引き続き、都市計画道路の整備を行い、市内道路ネットワークの形成を進める必要があります。</p> <p>本事業により道路拡幅及び交差点改良を行うことで、交通流の円滑化を図ります。</p>			
	関連事業	今井川改修工事、東海道の歴史的資源を活かしたみちづくり整備計画(案)			

事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	<p>令和2年度より国庫補助事業(空港・港湾等アクセス道路)に指定されており、横浜港と本市内陸南部工業地域を結ぶ重要道路に位置付けられています。先行して整備が完了している一般国道1号(狩場工区)と接続することで、保土ヶ谷橋交差点から狩場 IC までの交通の利便性向上や交通機能の強化を図る事が出来るほか、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能も発揮されます。また、事業工区に架かる保土ヶ谷橋については、交差する今井川で進められている河川改修工事(橋梁区間:令和12年度完了予定)に合わせて架替え・拡幅することで、近隣住民や交通への負荷を軽減する事ができます。</p>		
	事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)		事業全体	残事業
		割引率	4%	—
		総便益(B)	196.0億円	—
		総費用(C)	36.0億円	—
		費用便益比 (B/C)	5.4	—
		感度分析 [交通量-10%]	5.3	—
	[定性的効果]	<p>保土ヶ谷橋交差点付近から一般国道16号(保土ヶ谷バイパス)狩場ICまでの区間を整備することにより、交通流の円滑化と沿道環境の改善が図れるとともに、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。</p>		

事業の進捗状況	事業進捗率%	事業規模が大きい中で、橋梁架け替えを伴う交差点改良を先行して進めています。橋梁架け替えに必要な用地は全体の10%であり、一部の用地について交渉を継続しています。なお、残りの用地は、橋梁工事着手後並行して進める計画としています。 河川管理者や交通管理者との協議とあわせて、架け替えに必要な地下埋設物事業者による支障物の移設工事も進めています。
	22%	
	用地取得率%	
	8%	
	供用等の状況	
	-	
事業の課題及び進捗見込み	<p>本地区は、常時交通量の多い区間のため、保土ヶ谷橋の架け替え工事においても通行止めをせずに施工を行う必要があり、入念な施工計画の検討等が必要です。安全に工事を進めることができるよう交通管理者との協議を進めます。</p> <p>今後の河川改修に合わせて、保土ヶ谷橋の架け替え工事を実施していく予定のため、橋梁架替工事に必要な用地を優先的に確保していく必要があります。4件/6件の用地が取得済みであり、残りの用地についても早期取得を目指して交渉を進めます。</p>	
その他 (コスト削減項目等)	<p>舗装、構造物の築造等については、設計の段階から可能な限り工事費の削減に努めるとともに、長寿命化の検討を行い、維持管理費の削減に努めます。舗装、構造物の基礎等について再生材を使用する等、可能な限りコスト削減に努めます。</p>	
その他	-	
添付資料	有・無	
対応方針 (案)	継続	計画通り(上記計画を実施)※1
		一部見直し(上記計画を変更)※2 【見直し内容】
	中止	

対応方針 (案)とした理由	<p>隣接する狩場 IC 区間の整備が完了しており、当該事業区間を整備することにより、保土ヶ谷橋交差点付近まで連続して整備することができ、交通の円滑化や災害時の緊急輸送路としての機能強化などの整備効果を発揮できます。</p> <p>また、交差する今井川の河川改修工事と同時に保土ヶ谷橋の架替え工事を行うことで、近隣や交通への影響を最小限にとどめ、効率的な施工を行なうことができます。用地取得に時間を要していますが、事業の効果は十分有しており、継続して実施する必要があると判断しています。</p>
------------------	---

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。